



らくびお 楽Bio通信

2022年
12月号

NS乳酸菌革命記

話の混乱を避けるため、ここまでウイルスについてはあまり触れられませんでした。乳酸菌には、ウイルスをやっつける強いパワーがあります。

それを証明するこんな経験があります。2003年、中国発のSARS（重症急性呼吸症候群）騒動が起りました。

当時、中国科学院で人類遺伝学の研究に従事していた私のところへ、友人から電話がかかってきました。彼はSARSに感染し、ひどい目に遭いましたが、たまたま日本の友人からもらった乳酸菌を毎日鼻の粘膜に入れていたら「SARSが治った」というのです。それで「その乳酸菌を送るから正体を調べてほしい」という依頼でした。世界注視的だったこの新型肺炎SARSは、当時の中国衛生部には、3000件もの民間処方箋が寄せられていたといえます。

私にとっては、乳酸菌はそんな処方箋の一つに思いましたが、わざわざ送ってきたので、研究員に渡して遺伝子解析してもらいました。

菌の正体はすぐわかりました。発酵乳酸桿菌（ラクトバチルス・ファール

メンタム）と、もう1種類は乳酸球菌であることを突き止めました。

ところが、その後、私たちのいた研究所の隣で、SARS感染の疑いがある人が出て、私たちも研究所に足止めされてしまったのです。

思わぬことで時間の余裕ができた私は、友人をSARS禍から救った乳酸菌に興味を覚え、インターネットや書籍などで、乳酸菌の論文を片っ端から読んでみました。おそらく1000本以上の論文を読んだと思います。なかでもヤクルト中央研究所が発表した研究論文に注目しました。2000年に発表された「乳酸菌によるマウスの呼吸道伝染病の治療」に関する研究論文です。

そして、私は乳酸菌に強い興味を抱くようになったのです。私の専門は人類遺伝学です。私は「ヒト遺伝子の解明が進めば、病気の治療や予防は劇的に進む」と期待していました。これは私だけではありません。世界中の科学者もそんな期待を抱いていたのです。「火傷以外のすべての病気遺伝子の解明が進む」と有名な遺伝子研究者もいっていました。

しかし、ヒトゲノム解析が終わって明らかになったのは、「人類から病気をなくすのは依然むずかしい」ということでした。当時の私は非常に失望しました。そんな中で、乳酸

菌の効能は新鮮で魅力的であり、病気をなくすという人類の夢につながるものに思えました。

乳酸菌を送ってきた友人に、私は次のような返事を書きました。「興味があります。でもすぐに人間にテストすることは許されません。まずは豚を使って、実験して、効果と安全性が確認出来たら、人間に応用することを考えましょう」

こうして2003年の春から、私は乳酸菌の研究をスタートさせました。少し話が横道へそれてしまいましたが、要するに私がいいたいのは、世界中がこぞすったSARSという新型ウイルス感染症が、「乳酸菌によって治った（らしい）」という事実なのです。

抗生物質は人類が手にした史上最強の「対細菌兵器」ですが、残念ながらウイルスには有効ではありません。

インフルエンザや風邪の99%は、ウイルスが原因です。エイズもウイルスによって引き起こされます。がんもほとんどはウイルス感染であり、肺炎もウイルスによるものがあります。

こう考えてくると、SARSを治した乳酸菌というのは、ある意味とてつもない能力をもっているのではないか。ウイルスに強い乳酸菌は、

人類を病から救い、健康を保持し、免疫防衛のバリアになるのではないかと。そんな気がしたので。この気持ちは今でも変わりません。研究を重ねるにつれて、それはますます確信となつていきます。ウイルスの感染とはつまるところ、人間が防衛バリアを自分で破壊したために起こることだと考えられるのです。

「NS乳酸菌が病気を防ぐ」より抜粋

ご挨拶

師走を迎え、今年も残りあとわずかとなりました。去年も同じことを言っていますが、来年こそはコロナ禍が収束し、皆様が普段の生活に戻れることを願っております。今年も本場にあるがとうございました。また来年もご愛顧のほどよろしくお願いたします。良い年末年始をお過ごしください。

株式会社ラクア 社員一同





お客様の声
ページ→

※個人の感想であり、効果効能を示すものではありません。

「大草原の乳酸菌」 お客様の声

毎朝2つ飲んでます。
半粒ずつ飲んでいて
朝起きる時がスッキリしてる。

20代・男性・静岡県在住

朝1カプセル、寝る前1カプセル。
H25年12月末の頃より、当時は1日朝だけ飲んでいました。現在は1日2カプセルです。
50年以上も(12.3才頃より)から、ひどい花粉症(アレルギー性鼻炎)に悩んでいました。今年は全く症状が出ておりません。又、風邪などは一回もありません。昔年10月頃、ひどいせきと咳が止まらなかつたが、今はありません。感謝しております。

70代・女性・茨城県在住



「新時代のヒットの予感」(2023年版)
大草原の乳酸菌が掲載されました



「婦人公論」(2022年11月号)
大草原の乳酸菌が掲載されました



「afn ポータルサイト」(2022年10月)
大草原の乳酸菌が掲載されました



「KAMOS (醸す)」(2022年10月号)
ラクアが協賛企業として掲載されました

メディア掲載

11月8日の宵に皆既月食が起きました。時間帯や月の高度、継続時間などが好条件で見やすい月食だったので皆さんも見れましたか？今回はさらに、月食中に月が天王星を隠す、天王星食も起こりました。月食中の惑星食という、非常に珍しい現象のようです。都内の各所でも「皆既月食×天王星食」を楽しもうと月を見ている人、撮影している人であふれていました。たまには空を見上げるのもいいですね。



(撮影：任)

ニュース

しゃがあの 日蒙文化交流支援

ラクアが支援している日蒙文化交流活動です。賛助会員を募集しております。




バンベンの 砂漠緑化支援

ラクアが支援しているモンゴル地方の植林活動です。




NS乳酸菌で持続可能な社会的農業の推進

岐阜県高山市でNS乳酸菌を活用した特別な堆肥づくりが行われています。ラクアでは(株)スピリットが推進する持続可能な社会的農業を応援しています。





楽Bio通信

楽Bio通信の過去の号が閲覧できます




■ 電話でのご注文・お問い合わせ
フリーダイヤル **0120-098-529**
※受付時間/9:00~21:00 (土日祝日も承ります)

■ ホームページでのご注文・お問い合わせ
大草原の乳酸菌



大草原の乳酸菌